

議会だより



京丹波町
KYOTAMBA TOWN



第10号

平成20年1月17日

発行/京都府京丹波町議会

〒622-0292
京都府船井郡京丹波町蒲生八ツ谷62番地6
TEL.0771-82-3805 FAX.0771-82-2816
e-mail: gikai30@town.kyotamba.kyoto.jp
HPアドレス: http://www.town.kyotamba.kyoto.jp/gikai/



新たな決意に燃えて

議会構成変わる

議長に岡本 勇議員

副議長に野間和幸議員を再選

議会ホームページアクセス件数
121,706件 (19年12月27日現在)

目次

- 正副議長あいさつ……………2
- 委員長あいさつ及び中間報告……3
- 定例会(人事)/臨時会……………6
- 収賄事件調査特別委員会調査報告……7
- 議会活性化/議会構成/編集後記……8

一般質問で「一問一答」方式を新たに導入



本議会は、議会活性化の一環として、12月定例会から一般質問に「一問一答」方式を試験的に導入しました。
これまでの一括方式との大きな違いは、次のとおりです。
①質問時間30分以内であれば何度でも質問できる。
②一問に対して一答の形なので、問答の関係がわかりやすい。
③時間制限により通告内容すべてが質問できない場合がある。開かれた議会をめざして協議を重ねていますので、ぜひ議会傍聴にお越しくください。

新たに設置した質問席と電光掲示板

京丹波町議会構成

議長 岡本 勇

副議長 野間 和幸

監査委員 室田隆一郎

【委員会構成】

役職	議会運営委員会	常任委員会			特別委員会		
		総務文教 常任委員会	産業建設 常任委員会	福祉厚生 常任委員会	交通網対策 特別委員会	ダム関連 特別委員会	議会広報 特別委員会
委員長	小田 耕治	野口 久之	畠中 勉	山内 武夫	西山 和樹	吉田 忍	東 まさ子
副委員長	今西 孝司	篠塚信太郎	横山 勲	坂本美智代	室田隆一郎	今西 孝司	篠塚信太郎
委員	山内 武夫	東 まさ子	藤田 正夫	西山 和樹	坂本美智代	藤田 正夫	坂本美智代
	畠中 勉	小田 耕治	今西 孝司	吉田 忍	山内 武夫	畠中 勉	山内 武夫
	山田 均	室田隆一郎	山田 均	野間 和幸	小田 耕治	東 まさ子	今西 孝司
	野口 久之	岡本 勇			横山 勲	山田 均	横山 勲
					篠塚信太郎	野口 久之	野間 和幸
						野間 和幸	

【一部事務組合】

京都府後期高齢者 医療広域連合議会議員	船井郡衛生管理組合 議会議員	京都中部広域消防組合 議会議員	国民健康保険南丹病院 事業組合議会議員
岡本 勇	野間 和幸 山内 武夫	岡本 勇 野口 久之	岡本 勇

編集後記



合併して2年が経過し、議会構成が変わりました。議会だより第10号は、議会構成と委員会の中間報告を中心に編集しました。
今回、新しい体制で編集した初めての議会だよりです。委員一同、議会の情報をわかりやすく読みやすい紙面でお届けできるようにがんばります。
ご意見・ご感想をお寄せ下さい。(H・M)

議長に岡本 勇 議員 副議長に野間 和幸 議員を再選

11月30日に開催された「平成19年第5回臨時会」において、議長・副議長選挙及び各委員会委員の選任を行い、議長に岡本勇議員（大朴）、副議長に野間和幸議員（升谷）を再選し、各委員会の構成も新しくなりました。



求められるまちづくりを

京丹波町議会議長
岡本 勇

輝かしい2008年の新春を謹んでお慶び申し上げます。日頃は議会に對しまして、格別のご理解ご支援を賜っておりますことに厚くお礼を申し上げます。この度、改選におきまして議長の重責を再度担わせていただくことになりました。微力ながら精一杯職務を遂行する覚悟であります。京丹波町となり3度目の新年を迎えますが、昨年に策定された基本構想では「人のぬくもりとふれあい」が奏でる躍動の町「丹波高原文化の郷」を京丹波町の将来像としていきます。

基本構想に基づいたまちづくりが求められています。が、厳しい財政状況にある中で三位一体の改革や交付税改革など引き続き推進される一方で、税源委譲などは不明確のままです。国は、昨年に引き続き地方財政の歳出改革をもち出し、地方自治体を取り巻く環境はより厳しい状況にあり多難な前途であります。前期の反省にたち、地方分権時代に即した議会のさらなる活性化をめざして、議会の権能を果たせるよう努力をまいりますのでご指導をお願い申し上げます。みなさまのご健康ご多幸をご祈念申し上げます。



議会活性化の継続を

京丹波町議会議長
野間 和幸

この度、改選により再び副議長の職を担わせていただくこととなりました。微力ではありませんが、みなさまのご指導を仰ぎながら、自らに与えられた職務に専念してまいりたいと存じます。さて、議会では、活性化に向けた取り組みの第一歩として、議会運営委員会への会派の参加、一般質問における一問一答方式を採用しましたが、議会の権能を高めるために、さらなる活性化に向けた取り組みが必要と考えます。

また、定数に對し2名の欠員で、残任期間に既成事実が派生すると考えられ、議員定数の検討も大きな課題と考えます。議会は住民の代表機関であり、住民の意思を決するところでもあります。今後のまちづくりにあつて住民参加をさらに確かなものとするため、議会への変わりぬご指導ご支援をお願い申し上げます。結びに、町民のみなさまの限りないご多幸とさらなるご活躍をご祈念申し上げます。



室田隆一郎 篠塚信太郎 野口 久之 岡本 勇 東 まさ子 小田 耕治

総務文教常任委員会

委員長 野口 久之

財政健全化に向け全力で

京丹波町がスタートして2年が経過しましたが、依然として財源

の確保は年々厳しさを増すばかりで、深刻な状況が続いています。総務文教常任委員会といたしましても、経常経費などの徹底した削減をはじめ、財政健全化に向けた活動に全力で取り組み、平和で住み良い町づくりに懸命の努力をいたす所存でございます。何卒変わらぬご支援ご協力をよろしくお願いたします。

産業建設常任委員会

委員長 畠中 勉

生活に密着した課題の取り組みを

昨年の大幅な米価の下落は、農業に對して大きな打撃を与えました。京丹波町の主要産業である農業の現状は、後継者不足などにより

荒廃農地が今後さら増加することが予測されます。ブランド商品の拡大と、後継者育成は喫緊の課題です。国道・主要府道の早期完成や生活道路としての町道改良などの整備が必要です。安定した上水道を確保して、未給水地の解消や下水道の早期整備など、私たちの日常生活の身近にある多くの課題に委員一同一生懸命取り組みます。ご支援をよろしくお願いたします。



今西 孝司 畠中 勉 横山 勲 山田 均 藤田 正夫

福祉厚生常任委員会

委員長 山内 武夫

安心して暮らせる町に

合併して3年目を迎えた今日、少子高齢化が一段と進行し、福祉、医療、保健問題など、住民ニーズが多様化する

るなかで、住民に最も近い自治体である市町村の果たすべき役割は、ますます重要となっております。本年4月からは後期高齢者医療制度が導入されるなど、高齢者を取り巻く状況は一層厳しいものがあります。一人ひとりが安心して暮らせる町づくりのために、みなさま方の願いを町政に反映できるよう委員会としての使命を果たしていく決意であります。みなさまのご指導ご支援をよろしくお願いたします。



野間 和幸 山内 武夫 坂本美智代 西山 和樹 吉田 忍

議会運営委員会

委員長 小田 耕治

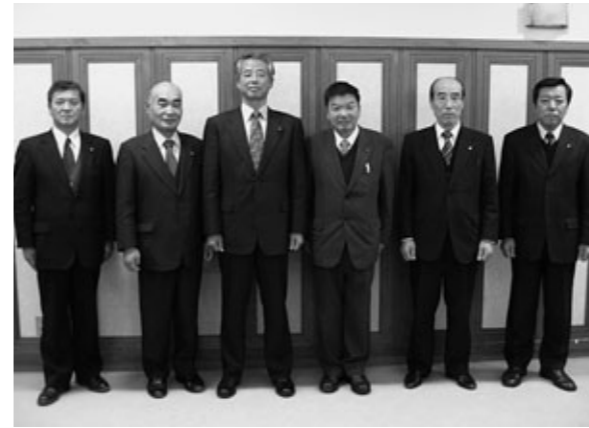


議会の活性化に取り組む

行政サービスをどう展開していくか、財政難をどう克服していくのかなど、多くの課題

を抱えて京丹波町3年目の新春を迎えました。町を取り巻く環境は厳しさを増しています。が、まちづくりの具体的な政策展開は急務であり、議会としての責任をしっかりと果たしていかなければなりません。

円滑で効率的な議会運営、議会の活性化など、議会運営委員会としての役割が果たせるよう、委員一同、一生懸命取り組みます。



山内 武夫 野口 久之 今西 孝司 小田 耕治 畠中 勉 山田 均

ダム関連特別委員会

委員長 吉田 忍



水の確保は生活の源

現在の畑川ダム用地買収は、99.9%完了しているという聞いています。

府が事業主体とはいえ、平成4年度から今まで貴重な税金が過ぎ込まれてきました。世代がどう変わろうと、この地に住みつづける以上、安定した水の確保は生活の源です。本体工事の早期着手を望むとともに、完成後の周辺整備事業の一つであります温泉の活用について、この時期に必要なのかを地元はもろろ町民のみなさまの意思を大切にし、



水源確保をめざした畑川ダムの開発

当委員会で協議検討していきます。

【中間報告】

畑川ダム建設は、畑川・高屋川の治水対策とあわせて、本町の水源確保を目的に建設が計画されたもので、平成4年度から事業に着手している。ダム本体の建設工事は、総貯水容量206万m³(有効貯水容量162万m³)の重力式コンクリートダムを建設するもので、堤高34m、堤頂長88.5m、堤体積2万7100m³である。

19年度は、林道の付け替え工事、本体工事の着手にむけて用地買収や物件補償が行われ、ダム建設に伴って整備するJR線路の整備工法について協議がまとまった。その結果、ダム建設に伴う町道(235号)が橋梁工法から、遮水擁壁を利用し整備されることになった。また、本格化に

向けて、畑川ダム取水に係る水利権申請や国庫補助事業再評価資料の作成業務、物件の補償や登記移転などが行われる。

今後検討すべき課題は、周辺整備事業の目玉として、ボーリングが行われたままになっている温泉開発についても議論を深めるべきところにきている。その他の周辺整備についても議論が必要であり、地元下山の畑川ダム対策協議会との交流も探っていくかなければならない。

丹波高原に位置し、水事情に苦慮してきた我が町としては、安心安全な水の確保ができる日がくることを町民の多くが待ち望んでいる。これから先、まずまずダム関連特別委員会の重要性が高まってくるものと思う。無事本体工事に着手し、周辺整備も進むことを願う。

交通網対策特別委員会

委員長 西山 和樹



京都縦貫道完成に全力を

合併の最優先課題であった「生活の足」町営バスの運行は、多少

の不満を残しつつも、路線の確定と安全運行が定着してきました。

JR京都〜園部間の複線電化も先が見え、また国道27号下山地内のバイパス工事も着実に進展を見えています。さらには京都縦貫道の用地買収も本格化するなど、ようやく丹波高原の交通網も夜明けを迎えつつあることが実感できるようになりました。

今後、当委員会は「生



工事が進む山陰本線複線化事業(南丹市八木町内)

活の大動脈とも言うべき京都縦貫道の早期完成に全力を注ぎ、我が町での生活に一層の潤いと充実が期待できるよう関係当局に働きかけ連携を密にして取り組んでいきます。

【中間報告】

山陰本線複線化事業は、20年度完成をめざして京都〜園部間の複線化事業が決定され、15年度から現地測量、調査設計、進入路設置、橋梁架設、擁壁設置、路盤新設工事などが行われている。

今後も複線化事業の早期完成を願うとともに、園部以北の南丹市京丹波町、綾部市間には9駅あり、次のステップに向けて綾部市側との複線化の展望が開けるよう要請していきたい。

町営バス運行は、旧町の運行形態を再編し、18年5月1日に京丹波町町営バスとして全町

的にスタートした。再編では、運行形態や運賃体系も統一され、旧町間を結ぶ新設路線を含め15路線とし、運賃も100円から最高400円とされた。

今後は、利便性の確保などにより利用者の増員を図るとともに、生活に欠かすことのできない便利なバスとしての運行を検討された。

京都縦貫道は、26年度完成予定で工事などが進められており、丹波綾部道路は暫定2車線(将来は4車線)で、設計速度は時速80kmである。

現在、騒音や排水問題などで地元要望について一部合意がされている地域もあるが、住民合意を第一に、十分な説明を行うなど積極的な対応をされるよう要望するとともに、一日も早い建設促進が図れるよう引き続き要請していきたい。

議会広報特別委員会

委員長 東 まさ子



町民と議会の架け橋に

議会の大きな役割のひとつが町政のチェックです。その手段としての一般質問・質疑・討論や議決結果を議会だよりでお届けしています。

図表や写真を豊富に使って読みやすい紙面づくりを委員7名でめざします。

町民のみならずには「新町まちづくり」に一言、また、写真のモデルとしてご協力をお願いします。

議会ホームページもご覧下さい。

【中間報告】

議会活動を少しでも早くお知らせするため、定例会翌月発行を基本として「議会だより京丹波」を創刊号から第9号まで発行してきました。

委員会として研修会などにも積極的に参加し、読みやすい記事内容を基本に編集を進めてきた。

できるだけ多くのみなさんに議会活動を知っていただくために、議会独自のホームページも開設している。

今後は開かれた議会をめざして議会だよりの発行やホームページの更新作業を行う。



発行してきた議会だより

人事案件

12月定例会で、教育委員会委員ほか各委員会委員の任命・選任・推薦に同意しました。

●教育委員会委員の任命
寺井行雄氏(富田)



【全員賛成】

●公平委員会委員の選任
大西好美氏(質美)

【全員賛成】

●固定資産評価審査委員会委員の選任
一谷 肇氏(口八田)

【全員賛成】

●人権擁護委員候補者の推薦
岡本 均氏(須知)

【全員賛成】

野間幸栄氏(本庄)

【全員賛成】

第5回臨時会

11月30日の第5回臨時会で専決処分議案が提案され、賛成多数で承認しました。

水道汚職事件に関わる損害賠償請求の訴えを提起

水道汚職事件に関して、契約相手方が贈賄事件で起訴され、11月14日の経過をもって刑が確定したため、契約条項に基づき損害賠償請求の訴えを提起する。

【賛成8 反対7】

●相手方

株式会社河野建設

●請求日 11月16日

●請求内容

2415万円
遅延損害金

●併護士費用は。

課長 旅費などの実費以外に、最大で着手金189万円、成功報酬

315万円となる。ただし、契約内容では協議のうえ支払うように明記している。

●損害賠償請求の訴えは理解できるが、なぜ専決処分としたのか。

町長 訴える時期は顧問弁護士に委ねており、みなさんに理解いただいていると認識していたので専決処分をした。

●専決処分をした日に臨時会が開催されていたが、手続きに問題はないか。

課長 臨時会終了後に専決処分をしたと認識している。

討論

反対討論 山田 均議員

損害賠償を求めることは当然だが、専決処分の手続きや多額な訴訟費用に問題があるの反対する。

第4回臨時会

11月16日の第4回臨時会で工事請負契約などの議案が提案され、全議案を可決しました。

町道東又線人子谷橋梁工事

東又地内に橋梁を架設する工事。契約金額5274万1500円で「株式会社美建」と契約締結。【全員賛成】

（入札結果）

○条件付一般競争入札

（郵便入札）

○落札率：75・88%

和知簡易水道事業北部浄水場築造工事

仏主地内に配水池及び施設などを設置する工事。契約金額7334万2500円で「西野建設株式会社」と契約締結。【全員賛成】

（入札結果）

○条件付一般競争入札

（郵便入札）



人子谷橋梁工事（東又地内）

○落札率：73・22%

●最低制限価格との差がほとんどないが、事前公表はしないのか。

副町長 本年度から入札制度を改革した。今後状況をしながら検討を重ねていきたい。

和知簡易水道事業北部浄水場浄水設備設置工事

仏主地内の北部浄水場の設備工事。契約金額1億3524万円で「株式会社協和エクス」が落札。【全員賛成】

（事業内容）

○農地：フトン籠工（安栖里地内）

○農業用施設：頭首工（蒲生地内）

町営土地改良事業の施行

本年7月と9月の豪雨災害による農地・農業用施設の災害復旧工事。【全員賛成】

（事業内容）

○農地：フトン籠工（安栖里地内）

○農業用施設：頭首工（蒲生地内）

贈収賄事件の再発防止に向け 倫理の確立・入札制度の見直しなど提言

収賄事件調査特別委員会報告

町水道工事入札をめぐる贈収賄事件の原因究明・再発防止・信頼回復を目的に委員会を設置し、委員会6回、小委員会5回、裁判傍聴6回など調査研究を行い、12月20日の本会議で委員会報告書が提出された。

事件の概要

堀郁太郎副町長（当時）と田井勲和知支所長（当時）は、水道工事の入札に関わり、便宜供与と知りながら、株式会社河野建設（宇野成官代表取締役（当時））から、現金の供与を受けたとして、収賄容疑で逮捕、起訴された。

堀郁太郎副町長は、懲役3年、執行猶予5年、追徴金650万円と200万円没収の判決を受け、刑が確定した。

田井勲元和知支所長は、懲役1年6月、執行猶予3年、追徴金80万円の判決を受け、刑が確定した。



汚職事件につながった塩谷加圧ポンプ場

事件発生の原因

第一には、公務員としての自覚や倫理観の欠如が、直接の原因となっており、事件を発生させた。

第二には、工事受注を確実にしたい業者が、発注権限を持つ町長や管理監督権限をもつ担当課長に賄賂を贈って、

再発防止に向けて

1. 倫理の確立

公務員は全体の奉仕者であることから、職員倫理をより強固に確立するため、計画的に研修することが必要である。一般職員の意識改革は当然であるが、権限を有する理事者や幹部職員の意識改革が強く求められる。

2. 組織の充実

公益通報保護法の趣旨に則り、通報者の保護に十分配慮し、職員や町民だれもが安心して相談できる体制の整備を研究すること。

3. 適切な人事異動

今回の教訓を活かし、同じ職場に長くともまらず、適切な在職年数で人事異動を行うこと。

4. 入札制度の見直し

本年度から談合を排除するために、条件付一般競争入札が採用されたが、今後とも談合排除と町内業者育成を両立させるための制度を研究することが必要。

5. 徹底した談合排除

談合の疑いがあるものについては、入札中止や公正取引委員会へ情報提供を積極的に行い、法令に基づき、毅然たる態度で徹底した談合排除を行うこと。

6. 議会としての対応

入札、契約業務の透明性・公平性に関し、

信頼回復に向けて

近年、自治体に対する税の使い方の関心が高まっており、従前にも増して厳しい監視と批判が寄せられている。行政には情報開示と説明責任、理事者・職員には清潔性が強く求められている。そのため、各種事務事業の再点検を行い、改善策をつくり上げるとともに、再びこのような事件を繰り返さないよう、時宜にかなった検証と改善を重ねることを強く求める。